

健康福祉委員会資料

(消防局関係)

1 所管事務の調査（報告）

- (2) 「川崎市総合計画」第3期実施計画・令和4年度事務事業評価結果について（消防局に関する部分）

資料1 「川崎市総合計画」第3期実施計画・令和4年度事務事業評価結果について（消防局）

資料2 令和4年度の主な事務事業の評価結果一覧（消防局）

参考資料 令和4年度事務事業評価シート（消防局）

令和5年8月24日

消 防 局

「川崎市総合計画」第3期実施計画・ 令和4年度事務事業評価結果について（消防局）

1 趣旨

「川崎市総合計画」第3期実施計画における、消防局の令和4年度の事務事業評価結果を取りまとめました。

2 「川崎市総合計画」第3期実施計画・令和4年度事務事業評価結果（概要）

「川崎市総合計画」第3期実施計画に基づく施策に位置付けられた事務事業のうち、消防局が所管する事務事業は27事業あり、そのうち目標をほぼ達成したものは23事業、目標を下回ったものは4事業ありました。（表1）。

表1 施策に位置付けられた事務事業の達成状況区分別 事業数と構成比（消防局）

達成状況区分		内容	事業数	構成比(%)
1	目標を大きく上回って達成	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日よりも相当早く達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに大きく貢献した。 ・目標に明記した内容よりも相当高い水準であった。 ・目標に明記した数値を大きく上回った。 	0	0.0%
2	目標を上回って達成	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日よりも早めに達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに貢献した。 ・目標に明記した期日どおり達成し、明記した内容よりも高い水準であった。 ・目標に明記した数値を上回った。 	0	0.0%
3	目標をほぼ達成	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日、内容どおりに達成した。 ・途中で多少の遅れはあったものの、最終期限には間に合う形で、目標に明記した内容どおりに達成した。 ・目標に明記した数値とほぼ同じであった。 ・おおむね適正に処理し業務遂行に支障がなかった。 	23	85.2%
4	目標を下回った	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した内容は達成したが、期日が遅れた。 ・目標に明記した期日どおりであったが、明記した内容に満たない水準であった。 ・目標に明記した数値を下回った。 ・所定の期日に間に合わないなど、業務を適正に処理できなかった。 	4	14.8%
5	目標を大きく下回った	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日よりも遅れ、明記した内容に満たない水準であった。 ・目標に明記した数値を大きく下回った。 	0	0.0%
合計			27	100.0%

令和4年度の主な事務事業の評価結果一覧(消防局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の達成度	参考資料掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
1	10104020	消防署所改築事業	その他	迅速な出場や確実な消防活動及び良好な執務環境確保のため、老朽化した庁舎・施設等を整備し、消防力の強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●建物劣化診断等による耐用年数評価と消防施設に求められる機能等について整理を行い、改修・改築の考え方の取りまとめは行なったものの、令和4年夏以降の新型コロナウイルス感染症等に伴う救急需要の大幅な増加を踏まえた検討を行う必要性が生じたことから、(仮称)消防施設整備方針については未策定 ●宮崎出張所改築工事に伴う基本・実施設計の完了 	141,540	96,788	4	P4
2	10104030	消防指令体制整備事業	その他	消防活動に関連する各システムと消防救急デジタル無線設備などを適切に維持管理し、迅速、的確な指令体制を確保します。	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年度より2か年で実施する計画として取り組んできた消防指令システムの更新整備完了 ●デジタル無線設備の適切な運用・維持管理の実施 ●消防情報管理システムの情報環境の効率化を図るために必要なシステム改修及び更新整備完了 ●Net119緊急通報システムの適切な運用及び登録者拡大に向けた説明会等の実施 ●多言語通訳業務の適切な運用の実施 	1,334,309	1,323,309	3	P6
3	10104060	消防団関係事業	その他	消防団員の確保及び必要な資器材や個人装備品の整備など、消防団活動の充実・強化や処遇改善を図るとともに、各種訓練等を通じて災害対応能力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●消防団員アンケート結果の検証・分析により、入・退団の主要因を把握し、退団する団員に対して休団及び機能別団員の各制度を周知し退団抑制の取組みを実施 ●報道メディア、各種広報媒体を活用し、あらゆる機会を捉えて若年層を中心に幅広い世代への広報活動や、ポスターやリーフレット等による広報、消防団のイメージアップの実施 ●消防団応援事業所:104事業所以上(目標)のところ106事業所 消防団協力事業所:164事業所以上(目標)のところ165事業所 ●学生団員:7名増の38名 ●学生認証制度:認証が3名増の11名 ●可搬ポンプ取扱訓練を4回、消防隊と連携した訓練を73回実施するとともに、MCA無線機を36基更新及び上下式防火衣を新たに導入 	232,706	211,503	4	P12
4	10104070	警防活動事業	その他	消防隊の災害情報の適切な収集、分析及び現場における安全管理体制を構築するために各種訓練及び研修を実施します。自主防災用資器材の保守点検を推進するとともに消耗品(消防用ホース)を計画的に更新します。	<ul style="list-style-type: none"> ●災害対応力の向上を図る訓練及び研修については、36回以上実施目標のところ、42回実施 ●消防用ホース管理要綱に基づき保守点検を実施 	242,278	240,331	3	P14
5	10104090	火災予防事業	その他	放火火災防止対策や住宅用火災警報器の設置促進及び適正な維持管理・交換促進に関する広報活動を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●防火指導員制度を活用し、町内会や自治会を中心に放火火災防止対策の指導を実施するとともに、予防運動や各種イベント等の機会を捉えてホームページやチラシ等各種広報媒体を活用した放火火災防止対策を中心とする広報活動を実施。 ●年2回の火災予防運動のほか、1年を通じて各種広報媒体を活用した火災予防広報を計60回(動画サイトによる広報4回、ホームページによる広報9回、ラジオによる広報2回、SNSによる広報10回、「川崎市地域包括ケアシステムポータルサイト」による広報4回、デジタルサイネージによる広報21回、展示による広報6回、大型ビジョンによる広報3回、教育機関と連携した広報1回)実施。 ●教育機関と連携し、住宅用火災警報器の広報を含めたアンケート調査を24の小学校に対し実施。 	2,129	1,690	3	P18

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
6	10104120	査察活動事業	その他	市内の防火対象物への立入検査及び法令違反の是正を推進することにより、防火対象物を適法な状態に維持管理させ、火災の予防及び火災による被害の軽減を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●査察基本計画に基づく立入検査の実施(立入検査数3,500か所以上実施を目標とし、3,580か所実施) ●特別立入検査の実施(ねんりんピック2022関連施設24か所、市立学校13か所、小規模雑居ビル151か所、繁華街の雑居ビル5か所、大規模物品販売店舗27か所及び直通階段が一つの防火対象物45か所) ●防火対象物に係る表示制度(防火基準適合表示制度)の運用(表示対象数17か所以上を目標とし、18か所表示)。また、違反対象物に係る公表制度を活用し、今年度3か所公表し是正指導を実施 	427	297	3	P24
7	10104130	危険物施設等規制事業	その他	危険物保有事業所の自主保安体制の構築を推進します。また石油コンビナート地区の地震及び風水害対策を推進します。高圧ガス保安法(コンビナート地域)及び液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(以下「液石法」という。)に係る事務・権限が、県から移譲見込みであることから、両法に係る事務執行体制を整備します。	<ul style="list-style-type: none"> ●危険物保有事業所の立入検査については、目標430か所以上のところ、485か所実施 ●危険物保有事業所の安全担当者講習会については、200人以上の受講を目標とし、年3回実施。対面とWEB配信を併用することで合計272名が受講 ●内部浮き蓋付き特定屋外タンク新基準適合率の目標を85.0%以上としていたところ、該当タンク保有事業所の事情で改修工事が遅れたため、83.6%と目標を下回ったが、期限内に該当タンクすべての改修が終了することを確認 ●地震・津波発生時における特定防災施設等の応急対策は、立入検査等の機会を通じ指導を実施し、全ての特定事業所が完了したことを確認 ●火薬類取締法及び高圧ガス保安法の立入検査については、100か所実施を目標とし118か所実施 	56,004	32,725	3	P26
8	10104170	庁舎等整備事業	その他	消防署等所の施設・設備の点検や補修を実施し、防災拠点機能を確保します。	<ul style="list-style-type: none"> ●庁舎等の改修・補修を実施 ●住吉西班器具置場改築工事に伴う基本・実施設計の完了 	362,011	403,017	3	P34
9	10104190	救助活動事業	その他	各種救助事案に対応するため、訓練及び研修等を実施し、総合的な災害対応力を強化します。	<ul style="list-style-type: none"> ●大規模災害、テロ災害等を想定した関係機関との合同訓練については、8回実施目標のところ、13回実施 ●外部機関が主催する専門的な研修への職員派遣については、1人派遣予定のところ、4人派遣 ●大規模災害時の救助隊員の各種救助資機材等を8消防署及び緊急消防援助隊活動拠点に配備 ●神奈川県及び県内消防本部と情報受伝達訓練を1回実施目標のところ3回実施 	9,562	10,052	3	P38
10	10104245	地域防災支援事業	その他	消防団と連携して、消火ホースキットを活用した町内会等への訓練指導や学校教育・地域教育における将来の地域防災力の担い手育成を行うなど、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災組織等へ訓練指導を100回実施 ●学校教育及び地域教育として、みんなが消防士事業113回、地域防災スクール21回、幼年消防クラブ11回、少年消防クラブ45回実施 ●各消防署及び業務委託先と連携し、町会や企業等の消防訓練に157回派遣 ●消防団員と連携した取組として、みんなが消防士事業22回、地域防災スクール活動9回、少年消防クラブ活動8回に消防団員が参画し直接指導を実施 	8,178	7,975	3	P48

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
11	10601060	救急活動事業	その他	救急車の適正利用に向けた救急需要対策の継続強化をしていきます。効率的・効果的な応急手当普及啓発活動を行い、救命効果の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●救急受診ガイド等の活用については、各種イベントでのチラシの配布や市内の大型ビジョンなどで広報を行い、救急車の適正利用の推進を継続 ●市民救命士の養成については、救命講習PR動画を活用し、市内の大型ビジョンや各種イベント等において広報活動を実施した他、講習時間を短縮し、人との接触を短くするWEB講習を開始した結果、10,000人以上を目標のところで、前年比で552人増加の4,291人を養成 ●委託先事業者と協力し、市民救命士の養成数の増加に向けた各種団体への啓発活動の継続 	51,823	187,321	4	P50
12	10601070	救急隊整備事業	その他	救急需要対策の効果を考慮し、人口動態等を踏まえたより効率的・効果的な救急体制の構築を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●救急車の現場到着時間は8.8分を目標とし、昨年の9.5分から10.2分に延伸 ●AI(人工知能)により一時的、局地的な救急需要の集中を予測し、救急隊を効果的・効率的に配置する取り組みについて、事業者4社と協定を交わし実証実験を実施。その結果を受けて、AIを活用した救急需要予測等のシステム製作について、企画提案方式により業者を決定後委託し、令和4年度末に完成した。その他、救急需要対策として、各種ビジョン等を活用した動画放映による啓発を実施 	0	0	4	P52
13	10601080	救急救命士養成事業	その他	救急救命士の常時乗車体制を確保するとともに、より高度な救命処置ができる認定救急救命士を養成します。	<ul style="list-style-type: none"> ●救急救命士の常時乗車体制の運用に向けた新規救急救命士の養成について、目標人数の7人を養成(養成数:7人・目標値7人) ●高度な救命処置が行える認定救急救命士の養成について、目標人数の8人を養成(養成数:8人、目標値8人) ●川崎市立川崎病院ワークステーション実現に向けて、関係局及び関係課と運用方法等の検討・調整を実施 	55,411	53,578	3	P54

主な事務事業の評価結果一覧の見方

令和4年度の主な事務事業の評価結果一覧は、各局が所管する事務事業のうち、「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を取りまとめ、個別に進捗状況をお示ししたものです。

一覧の見方は次のとおりです。

令和4年度の主な事務事業の評価結果一覧(総務企画局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の達成度	参考資料掲載頁	
						予算額	決算額 (見込)			
1	10101070	本庁舎等運営事業	その他	本庁舎等について災害対策活動の中枢拠点としての耐震性能を確保するため、建替えの取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●新本庁舎超高層棟新築工事及び復興新築工事の推進(完成予定だったところ、出来高ペースで92.9%の進捗。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新本庁舎の完成時期を令和5年度に延期) ●第2庁舎解体・跡地広場整備の設計完了、工事の契約手続着手 	34,141,026	14,553,298	4	P●●	①「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を掲載
2	40205010	地域情報化推進事業	その他	市民生活の更なる利便性の向上や、地域経済の活性化を図るため、かわさきWi-Fiの運用を行うとともに、地域情報の効果的な発信を図ります。公共データを市民サービスやビジネスにつなげるため、オープンデータの公開を進め、その効果的な利活用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「イベントアプリ」のサービス提供(民間事業者等登録数:目標350団体、実績354団体) ●川崎市LINE公式アカウントやかわさきアプリを活用した情報発信(市LINE公式アカウント友だち登録者数:目標40,000人、実績43,437人) ●更なるオープンデータの公開(公開データセット数:目標350件、実績378件)(公開データの月平均ダウンロード数:目標6,250件、実績4,827件) 	20,567	32,820	3	P●●	②市民サービス等の分類を記載 ※分類区分 ○施設の管理・運営 ○補助・助成金 ○イベント等 ○表彰・顕彰・認定 ○参加・協働の場 ○公聴及び相談・苦情申し立ての聴取等 ○許認可等 ○出版物等 ○その他
3	40205020	行政情報化推進事業	その他	「川崎市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プラン」に基づく情報化関連施策の進捗管理を進めるとともに、マイナンバー制度の効率的・効果的な運用を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●他の自治体等とのマイナンバーによる情報連携の安定的かつ円滑な運用 ●区役所・支所へのマイナポイント支援窓口の設置及び健康保険証利用の登録作業の実施(マイナポイント申込等の支援件数:目標60,000件、実績102,009件) ●川崎市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プランに基づく取組の進捗管理の実施 	209,810	153,732	3	P●●	③事務事業の概要を記載
4	40205030	デジタル化推進事業	その他	スマートフォンなどから24時間申請可能な電子申請システムの構築・運用や、市民ニーズが高い施設・窓口等でのキャッシュレス決済の導入を推進するなど、デジタル技術を活用して利便性の高い行政サービスを提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークスタイル変革に向けたテレワークパソコンの追加導入(導入数:1,310台) ●新本庁舎における柔軟な働き方の実現に向けた無線LAN環境の整備 ●NPO法人と連携したスマホ教室等の実施(実施回数:28回) ●旧電子申請システムの安定的な運用及び新電子申請システム「オンライン手続かわさき(e-KAWASAKI)」の一部稼働開始(電子申請システムの利用件数:目標400,000件、実績450,379件) ●「オンライン手続かわさき(e-KAWASAKI)」等を活用した行政手続の原則オンライン化(電子申請可能な手続のオンライン化率:目標100%、実績100%) ●キャッシュレス決済可能な窓口等の拡大による利便性の向上(施設・窓口数:目標51、実績51、決済比率:目標10%、実績10.5%) 	209,115	154,753	3	P●●	④令和4年度に実施した主な取組の実績を定量的な数字を含めて記載
5	40901005	市制100周年記念事業	参加・協働の場	本市が、令和6(2024)年に市制施行100周年を迎えることから、本市のさまざまな魅力、ポテンシャルを市内外にアピールする機会と捉え、各種事業や情報発信等を展開します。	<ul style="list-style-type: none"> ●オール川崎市の推進体制である実行委員会の設立、運営(参画団体数:目標300に対し実績311) ●市制100周年記念事業実施計画の策定 ●市制100周年の機運醸成のためのPRの実施(PRポスター、クラウドファンディングを活用した白黒写真カラー化、広報紙の発行等) 	24,772	27,238	3	P●●	⑤令和4年度の予算額及び決算額(見込)を記載
6	40901010	シティプロモーション推進事業	その他	戦略的な情報発信等により、市民のシビックプライドの醸成及び対外的な都市イメージの向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●「シティプロモーション戦略プラン」に基づく下記の各取組推進の結果、シビックプライド指標「愛着」は目標6.6に対し結果5.5、「誇り」は目標5.6に対し結果4.9と、いずれも目標を下回った。 ●PR事業者の活用、メディアミックスによる魅力発信 ●Twitterや動画等を活用した情報発信 ●民間企業等との連携によるプロモーションの推進 ●インフルエンサーと連携した「かわさきスペシャルサポーター」による若年層を対象にした情報発信 ●川崎市ブランドメッセージのQIGA端末教材の制作・公開 	33,003	26,808	4	P●●	⑥事務事業の達成度を記載 ※達成状況区分 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
7	40901020	国際交流推進事業	イベント等	海外からの視察受入れや(公財)国際交流協会との連携により、行政だけでなく市民による国際交流を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●ウーロンゴン市との交流について、川崎ジュニア文化賞実行委員会と連携し、大賞受賞者と、ウーロンゴン市長及びウーロンゴン市の児童とのオンライン交流会を実施 ●富川市長をはじめとした訪問団の川崎市長らへの表敬訪問の受入 ●ザルツブルク市及びびりューベック市との友好都市提携30周年を記念し、市内で周年記念コンサートや宮前図書館と連携した企画展、各区役所コンサートと連携した取組、川崎市とザルツブルク市の小学生の合唱及びメッセージの動画交換等を実施 	37,774	24,269	3	P●●	⑦参考資料における当該事務事業の評価シートの掲載ページを記載